

大分県立芸術文化短期大学

Epistula

大分県立芸術文化短期大学広報誌 エピストゥラ

EPISTULA: 古典ラテン語で“手紙”という意味です。
広報室からみなさまへ、芸文短大の“いま”を伝えるお手紙をお届けします。

Vol. 79
2025.SUMMER



表紙/情報コミュニケーション学科新入生

Epistula

OITA PREFECTURAL COLLEGE OF ARTS AND CULTURE
Public Relations Magazine

Vol. 79
2025.SUMMER

大分県立芸術文化短期大学広報誌「EPISTULA」2025年6月2日発行 通巻79号
大分県立芸術文化短期大学 〒8700893 大分市上野丘東1番11号 TEL0975450542 代表 FAX0975450543

OITA PREFECTURAL COLLEGE OF ARTS AND CULTURE

OITA PREFECTURAL COLLEGE OF
ARTS AND CULTURE

OPEN CAMPUS 2025



オープンキャンパス開催日 **13:00開始**

個性豊かな学科の紹介や個別相談、模擬授業など、多彩なプログラムを通じて芸文短大の魅力を体感しよう!

美術科

音楽科

国際総合学科

情報コミュニケーション学科

7/27日

7/13日

全3回 6/15日 8/2日
9/14日

全4回 5/17日 6/28日
8/3日 11/8日

そのほか、学科説明・入試説明、学生生活相談(希望者のみ)、在学生との対話、キャンパスツアーなども行います。

美術科・音楽科 講習会開催

オープンキャンパスとは別に申し込みが必要です

美術科・音楽科では、オープンキャンパスに合わせて講習会を開催します。(有料)
申し込み・詳細につきましては、本学HPにてお知らせします。

詳細はこちら



美術科 6月・7月・8月

対象：高校生以上(社会人も可) 受講料：1,000円

実践的な実技デッサン講習会を開催します。専攻によりデッサンの内容は異なります。
各専攻定員がありますのでお早めの申し込みをお願いいたします。

音楽科 6月・7月・9月

対象：高校生以上(社会人も可) 受講料：4,500円

コース別に本学教員が、マンツーマンで指導します(1回45分の個人レッスン)。
また、希望者には基礎科目の指導も行います(一部追加料金がかかります)。

大学応援 基金の御礼

本学応援基金へのご寄附に対する感謝の意を込めて、お名前掲載を許可いただいた方のご芳名を掲載させていただきます。

石田 恒友様

ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

情報をいち早く
Get!



LINEをはじめました! /



LINE



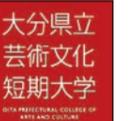
Instagram



X(旧Twitter)



YouTube



ソーシャル
メディア一覧



芸文短大 検索 <https://www.oita-pjc.ac.jp>

Special

特集

●新任の先生を紹介します





グロボカール
「エシャージュ」(1973)
演奏風景。
リサイタル時には
必ず爪を塗ります♡
共演は俳優の
長洲仁美さん。



音楽科 **坂本 光太**先生

{ 02 } PROFILE

Q.経歴・専門分野・担当科目を教えてください
チューバの演奏家です。オーケストラや吹奏楽を指導しつつ、現代音楽・即興演奏を中心に演奏活動をしています。また、ジャンルを横断した活動に興味があり、作曲家や演奏家のみならず、演出家、詩人、ダンサー、俳優、研究者、美術家の人々と共同制作を行ってきました。
授業は、器楽、オーケストラ、アンサンブルなどの実技科目に加え、音楽科教育など教職科目も一部担当します。

Q.芸文短大に着任される前はどこで何をされていたか?
大学院時代は、ヴィンコ・グロボカールという作曲家・トロンボーン奏者の作品に出会い、息を吸いながら演奏したり、床に這いつくばりながら演奏したりという破天荒な作品群に魅了され、その研究をしていました(現在も継続中です)。
大分県立芸術文化短期大学に就任する直前の4年間は、京都女子大学発達教育学部で先生をしていました。管楽器の実技指導のほか、論文指導や教職に関する科目を担当していました。

Q.新天地で挑戦してみたいことは?
初めての大学の生活で、まだ右も左もわかりませんが、この地で新しい出会いに触れ、演奏活動を積極的に行いたいと思っています。

Q.学生にメッセージをお願いします!
大学では、「わからない」ことや「できない」ことにこそ大きな価値があります。失敗を恐れず、たくさん試行し、その過程そのものを楽しんでください。みなさんの学生生活のお手伝いが私にもできたらと思います。

welcome /

大分県立芸術文化短期大学

3名の
先生が赴任
しました

新任の先生を
紹介します

国際総合学科

やまおか りよこ
山岡 利矢子先生

{ 03 } PROFILE

Q.経歴・専門分野・担当科目を教えてください
私は本学の音楽科(声楽専攻)卒業後、「ヨーロッパ精神とは何か」という関心から学習院大学文学部フランス文学科に進学、その後東京大学総合文化研究科地域文化研究専攻とパリ第8大学を修了しました。専門は現代フランスの文学と思想で、ジャック・デリダという1930年アルジェリア生まれのフランスの哲学者を研究しています。彼の思想は脱構築で知られ、世界中の文学・芸術・政治等の広い分野に影響を与えました。既存の概念にとらわれず、様々な事象を常にアップデートしていくことの重要性と必然を提唱したデリダの思想は、私たちが生きる21世紀の社会において最も活かされているのではないのでしょうか。担当科目は「フランス語」「ヨーロッパの社会と文化」「比較文化特論」等です。

Q.芸文短大に着任される前はどこで何をされていたか?
大学院修了後は、フランス語の専門コースがある高等学校や中学校で常勤講師として5年間教えて、その後は大学で非常勤講師として4年間フランス語を教えました。日本学生支援機構の海外留学支援課でも学位担当の非常勤職員として3年間勤めました。

Q.新天地で挑戦してみたいことは?
国際総合学科では、ヨーロッパおよびフランスの文化の普及と共に、それを軸にしてアジア圏の国々との交流促進に努めたいです。多くの民族や宗教の隔たりを超えて、国際交流を通して、お互いを理解し深めていくことは、より一層大切な時代になっていると思います。大分の温かい人々の想いや心が、世界中の人々に届けられるような交流の場をここで作り上げていけたらと思います。

Q.学生にメッセージをお願いします!
2年間はあっという間に過ぎてしまうと思いますが、そこで学んだことは必ず次に活かされますので、今という一時一時を無駄にせず大切に歩んでほしいと思います。フランスにもAprès la pluie, le beau temps(雨降って地かたまる)という諺がありますが、苦労をした後は必ず良い結果が現れます。一生懸命に目の前のことにポジティブに取り組んで、楽しい学生生活を送ってほしいと思います。

"J'aime les gâteaux!"
岩手時代に
南部鉄器と一緒に
写っている一枚です。



フランスのパリ第8大学での
学費値上げに反対する
学生デモの一場面。
なかなかシュールな光景が
衝撃的でした。

美術科 **西田 若葉**先生

{ 01 } PROFILE

Q.経歴・専門分野・担当科目を教えてください
福岡市出身で、さらに両親共に福岡県出身ということもあり、都会と田舎両方での生活を体験しました。学生時代は山口、広島といった中国地方で過ごし、青年期(主に大学生)のアイデンティティ形成プロセスにおける不適応的な側面について研究してきました。2017年から大学教員として九州に戻り、様々な学生と関わったことで、心理支援や教職課程の立場からも研究を少しずつ進めました。担当科目は「教育相談の理論と方法」、「教育心理学」、「心理学B」、「心理学特論」などの教職課程や一般教養科目となります。

Q.芸文短大に着任される前はどこで何をされていたか?
宮崎の私立大学で8年間、教職課程と学生相談を担当していました。陽射しがとても暖かく、のんびりした土地柄でしたが、教職の再課程認定申請や実地視察対策、学生相談の仕組みづくりや学内外の連携などに取り組み、てんてこ舞いな日々を過ごしていました。仕事の傍ら、水平線だけ(たまに船やサーファーも)が見える青島の海辺を散歩したり、美術館や博物館に出かけたりしていました。

Q.新天地で挑戦してみたいことは?
自転車通勤を始めたのですが、道が整備されていて快適なので、キャンパス以外のいろんな場所にもお出かけできるよう、体力づくりがしたいです。
また、これまで鑑賞側としてアートを楽しんできましたが、制作側への興味も湧いてきています。研究でも、例えば大学生における制作活動の心理的影響などをテーマに、積極的なアウトプットを行いたいです。

Q.学生にメッセージをお願いします!
自己の理解や表現というものは、みなさんにとって今後ますます重要な行為となっていきます。それらに充分に取り組むためには、それらの行為を自身の内面だけで完結させず、すべてが思い通りになるとは限らない他者や世界と触れ合いながら、日々を過ごすことではないかと考えています。教員ならびに学生相談員の一人として、みなさんの取り組みを支えていけたらと思いますので、ちょっとした質問や雑談も含め、気軽に声をかけてください。

今年の3月、前職場の
卒業式のために袴を着て、
一葉稲荷神社で
厄払いをしました。



ギリシャリクガメ(オス・4歳)と
暮らしています。



TOPICS
03

就職活動のための 模擬面接指導を行いました

学外からお招きした企業の方々や、教職員に面接官としてご参加いただき就職活動のための模擬面接指導会を実施しました。学生たちは実践的な面接練習に、緊張しながらも準備してきた自身のアピールポイントなどを面接官にしっかりと伝えていました。終了後は面接官から、話すときの視線の位置や話すスピード、学生が話したアピールポイントについてのアドバイスをなど細やかに指導いただきました。進路支援室では、学生の就職をサポートするためにガイダンスやグループディスカッション講義、模擬面接などを通して、様々な指導を行っています。



TOPICS
01

第65回入学式・ 第48回専攻科入学式を執り行いました



2025年度入学式を4月5日(土)に執り行いました。音楽科在校生によるファンファーレに始まり、大学賛歌が合唱されました。今年度の新入学生は、短大354名並びに専攻科55名の計409名です。

小手川大助学長が式辞で「本学の特徴である地域連携のなかでしっかりと学んで欲しい」と新入生を激励し、短大と専攻科それぞれの入学生代表が宣誓しました。

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。教職員一同、心から歓迎します。



TOPICS
04

国際総合学科の学生が TOEICで830点を獲得しました

国際総合学科2年生の松川紗希さんは、1年生後期に履修した「実務英語」の講義(担当・田中友紀先生)で、英語コミュニケーション能力を測る試験であるTOEICを知り、3回目の挑戦で830点という素晴らしいスコアを獲得しました。このスコアは、ネイティブとの込み入った内容の会話が理解でき、専門的な文章も難なく読みこなせるレベルです。

松川さんは、「将来は海外に行って、グローバルな視点から自分の専攻分野を学びたい」と語っています。



竹田キャンパス Taketa Campus

竹田キャンパスは、ゼミやサークルでの合宿、創作活動の拠点として
竹田市に2010年4月にオープンした、芸文短大と地域との交流の場です

竹田キャンパスの1Fに段ボールだらけの場所があります。け、決して片付けが面倒くさくて放置しているわけではありません…。卒業生が子ども連れで制作に来た時の遊び場として確保しています。子ども達には家ではできない広い空間で自由に工作を楽しんでもらっています。材料さえあれば、自由な発想で物作りに没頭します。そしてそれが自身の技術、経験となり豊かな感性となっていきます。まあ私も一緒に楽しむのですが、ただ、もう少し片付けておこうかな…。



TOPICS
02

サイバー防犯ボランティア 「めじろんおおいた見守り隊」の委嘱式が行われました



情報コミュニケーション学科の野田研究室に所属する2年生8名に対し、大分県警察からサイバー防犯ボランティア「めじろんおおいた見守り隊」の委嘱状が交付されました。

「めじろんおおいた見守り隊」は、SNSにおける違法・有害な投稿をパトロールして通報し、インターネット上に潜む様々なトラブルを防犯する活動を行っています。委嘱式では大分県警察生活安全全部サイバー犯罪対策課長からメンバーに委嘱状が手渡され、その後、情報処理演習室で実際にネットパトロールを行いました。

学んだことを地域で活かす、
地域で活動することで
学びの意味を考える



大分川清掃および大友宗麟の歴史探索を行いました

4月19日(土)に、サービスラーニングの活動として、大学の近くを流れる大分川の清掃および大分にゆかりのある大友宗麟の歴史を知るための活動を行い、新入生を中心とした21名の学生が参加しました。

学生たちは、最初に大分県立芸術文化短期大学のキャンパスの歴史について説明を受けた後、大分川の河川敷に沿って清掃活動を行いました。所々で担当教員である綾部誠准教授から、大分川の開発計画、戦国時代のまちづくりと海外貿易、国際都市として成長した豊後(府内)の特徴、大分から全国に影響を及ぼすことになった西洋医学・社会福祉・西洋音楽などについて説明が行われました。

続いて南蛮BVNGO交流館では、大友宗麟の功績や歴史についてビデオを見ながら学習し、当時の建物の様子などを疑似体験できる



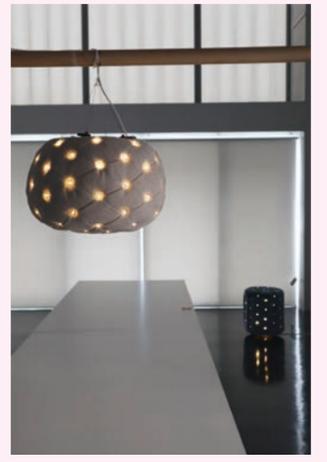
VRアプリを使って、大本宗麟時代の歴史や建造物について理解を深めました。参加した学生からは「大友宗麟のことを知れて良かった」「大分から日本全体に広がったものが色々あって勉強になった」「大分市を自分たちの手できれいにできて嬉しかった」などの感想が寄せられました。一連の活動を通じて市内の環境美化に貢献するとともに、大学の位置する上野丘地域の歴史と観光資源について学ぶ1日となりました。

学内ギャラリー作品介绍



プロダクトデザインコースレビュー 2024 [美術科 デザイン専攻 プロダクトデザインコース]

2025年4月10日(木)~4月16日(水)、プロダクトデザインコースの令和6年度の課題提出作品、卒業・終了制作の優秀作品の展示を行いました。



こんにちは!学友会です!先日の新入生歓迎会では、例年を超える沢山の新生が来てくださりとてもうれしかったです!今後もスポーツ大会や芸短祭と盛り上げていきますので、ぜひご参加ください!!またInstagramで情報発信しているのでそちらのフォローもよろしくお願いします!!

日々是精進

- 美術科**
 - 第59回大分市美術展 彫刻部門
大分市美術館館長賞 山田 瑠海(2年 美術専攻 彫刻分野)
 - 第41回FUKUIサムホール美術展
優秀賞 山田 愛珠(2年 美術専攻 日本画分野)
- 専攻科 造形専攻**
 - 第59回大分市美術展 彫刻部門
大分市議会議長賞 園田 陽菜(1年 美術コース 彫刻分野)
 - 日本画部門
大分市美術館館長賞 上岡 由佳(1年 美術コース 日本画分野)
- 情報コミュニケーション学科**
 - 日本教育カウンセラー協会
ピアヘルパー会長賞 秦 綾希、阿部 華純、赤星 凜
 - 全国大学実務教育協会
秘書士会長賞 中尾 海音

- 専攻科 音楽専攻**
 - 2024年度全日本ピアノコンクール 一般プロ部門U30
第6位 小林 音葉(2年 ピアノコース)
 - 第29回PIARAピアノコンクール 九州I地区大会 シニアC部門
最優秀賞 佐藤 ひなた(1年 ピアノコース)
 - 第63回北九州芸術祭クラシックコンクール 一般の部(全体)
準グランプリ(グランプリなし)
橋詰 凜音(2年 管弦打コース)
 - 一般の部 管楽器部門Hコース
第1位 橋詰 凜音(2年 管弦打コース)
第2位 角 日菜子(2年 管弦打コース)
第3位 西田 花乃(2年 管弦打コース)
 - 第34回京都フランス音楽アカデミー オーディション合格
クレール・デゼール教授マスタークラス修了
岡 友萌音(2年 ピアノコース)

President's column

学長コラム 生きる喜び



似顔絵:学長秘書 高野桐子

ロシア語学習

外国語を勉強したいと思ったのは神戸の高校に入学してからだった。高校の同級生にサウジアラビア在住経験者がいて英語がうまかったので、大学に入って時間ができたら外国語をやろうと思った。「習得したらそれで生活していける外国語は何か」と周囲に聞いたところ、「ロシア語」という答えが返ってきたので、代々木の日ソ学院の、週6日、1日3時間の本科2科(夜間部)に入学した。毎日、駒場の大学の授業に出席し、その後代々木に行くという忙しい日々だった。帰宅は毎晩9時半前後で、駅前であんぱんを食べて下宿先に帰ると11時前、父の友人である下宿のご主人と音楽鑑賞をして12時に就寝という日を約2年過ごした。

2年後に卒業できたが、入学した30数名のうち卒業できたのは6名だけだった。私以外は札幌五輪の通訳に行ったが私は大学の試験日程の関係で行けずに落ち込んでいたところ、学院の先生がソ連の弦楽四重奏団の通訳の仕事を紹介してくれた。それ以後、音楽関係の通訳に特化することになったのが私の音楽との出会いだ。